
V 施策の目標に関わる指標

1. 結婚、妊娠・出産

本章では、施策の目標となっている指標について本調査の結果と過去からの推移を示した。

(指標の算出方法について)

- ・指標の推移を比較するに当たって、調査に対して回答がなかった「不明」の多寡の影響を避けるため、過去調査・今回調査とも「不明」を除く合計を100とした割合を示した。
- ・平成30年度調査の指標はすべて、20-34歳の男女別独身者数、最年少の子どもが9歳未満までの世帯数等、対象の県民局別母集団数によるウエイトバック集計である。

(過去の調査)

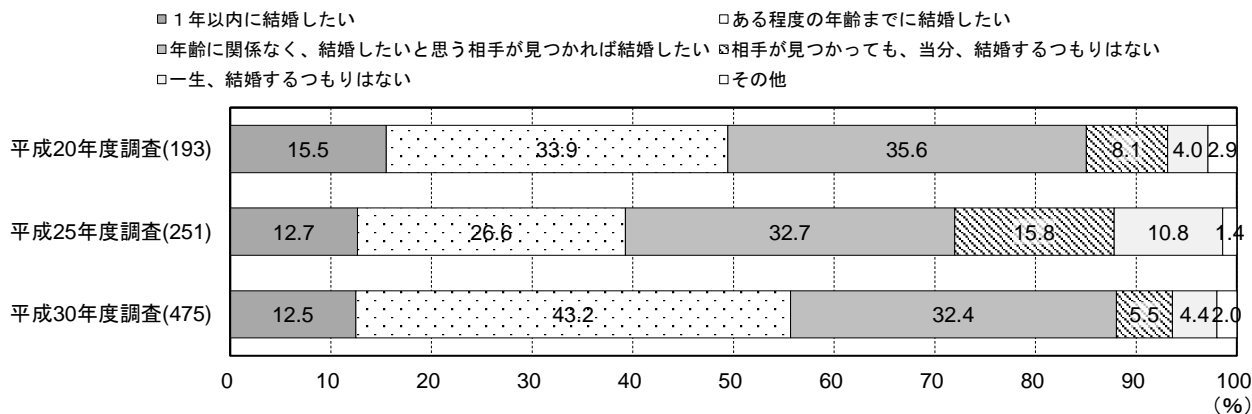
平成20年度調査：第3次岡山いきいき子どもプラン（仮称）策定に関する県民意識調査

平成25年度調査：次期岡山いきいき子どもプラン（仮称）策定に関する県民意識調査

(1) 結婚意欲

項目	内容
①指標	いずれ結婚したいと思っている者の割合
②対象	20-34歳の独身男女
③目標	平成30年 75%
④推移	平成20年度調査 85.0% → 平成25年度調査 72.0% → 平成30年度調査 88.1%

図V-1 結婚についての考え方（20-34歳独身者）

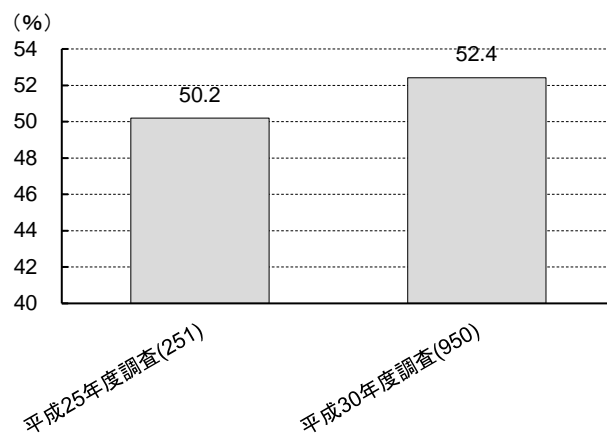


- (注) 1. いずれ結婚したいと思っている者は、「1年以内に結婚したい」「ある程度の年齢になるまで結婚したい」「結婚したいと思う相手が見つければ結婚したい」の合計である
2. 選択肢を合致させるため平成20年度調査及び平成25年度調査は「不明」のほか「わからない」を除く合計を100とした割合である

(2) 妊娠・出産に関わる知識

項目	内容
①指標	妊娠と年齢の関係について正しく知っている者の割合
②対象	20-34歳の男女
③目標	平成30年 70%
④推移	平成25年度調査 50.2% → 平成30年度調査 52.4%

図V-2 妊娠と年齢の関係について「よく知っている」(20-34歳の男女)



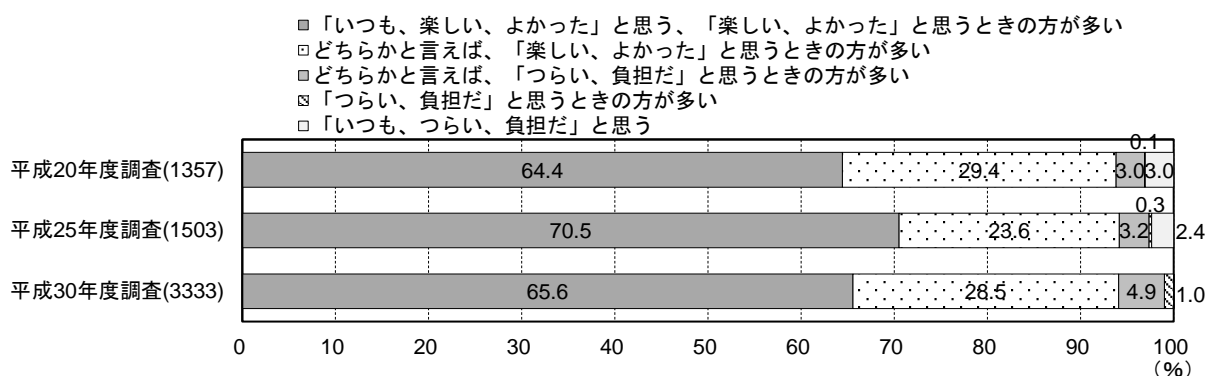
(注) 今回調査(平成30年度調査)は「女性の妊娠する力が年齢に伴い低下すること」「男性の精子が、年齢に伴い減少し、老化すること」の両方に「よく知っている」と回答した割合である

2. 子育て

(1) 子育てによる幸福感

項目	内容
①指標	子育てについて「楽しい」「いつも楽しい」「楽しいと感じるときの方が多い」と回答する者の割合
②対象	子育て世帯
③目標	平成30年 75%
④推移	平成20年度調査 64.4% → 平成25年度調査 70.5% → 平成30年度調査 65.6%

図V-3 総合的にみて、子育てをされていて、楽しい、よかったと思うことと、つらい、負担だと思うことは、どちらの方が多いか

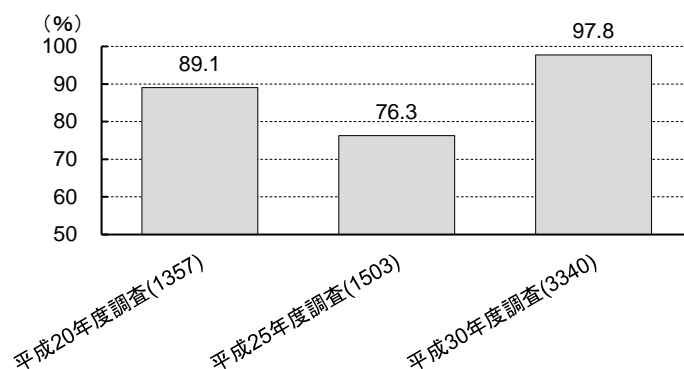


(注) 選択肢を合致させるため平成20年度調査及び平成25年度調査は「不明」のほか「その他」を除く合計を100とした割合とした

(2) 子どもの成長による幸福感

項目	内容
①指標	子どもの成長が喜びであると回答する者の割合
②対象	子育て世帯
③目標	平成30年 100%
④推移	平成20年度調査 89.1% → 平成25年度調査 76.3% → 平成30年度調査 97.8%

図V-4 子どもの成長が喜びである

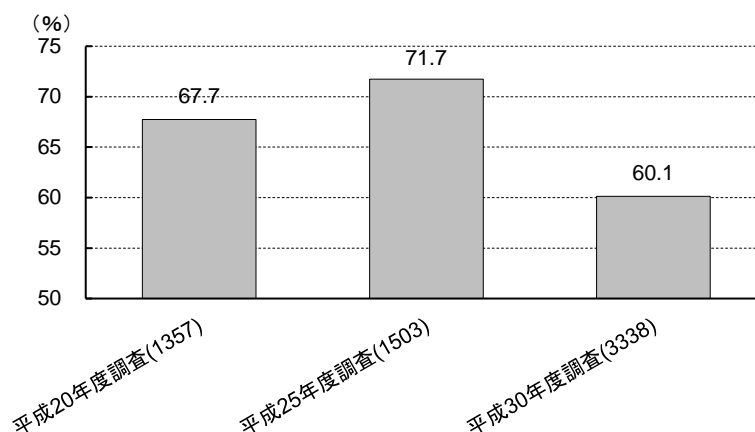


(注) 今回調査(平成30年度調査)は「子どもの成長が幸せ、楽しい、よかった」と思うかに対して「とてもそう思う」「そう思う」と回答した割合

(3) 子育てに対する自信

項目	内容
①指標	子育てに自信がなくなることがあると回答する者の割合
②対象	子育て世帯
③目標	平成30年 60%
④推移	平成20年度調査 67.7% → 平成25年度調査 71.7% → 平成30年度調査 60.1%

図V-5 子育てに自信がなくなることがある

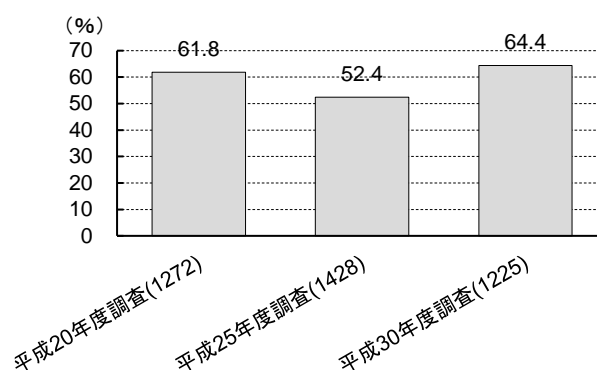


(注) 今回調査（平成30年度調査）は「子育てをしていて、自信や意欲を失うことが多い」に対して、「そう思わない」「まったくそう思わない」と回答しなかった者の割合

(4) 子育てに関わる経済的負担

項目	内容
①指標	理想の子ども数より予定の子ども数が少ない理由として「子育てに係る経済的負担感」と回答する者の割合
②対象	子育て世帯
③目標	平成30年 50%
④推移	平成20年度調査 61.8% → 平成25年度調査 52.4% → 平成30年度調査 64.4%

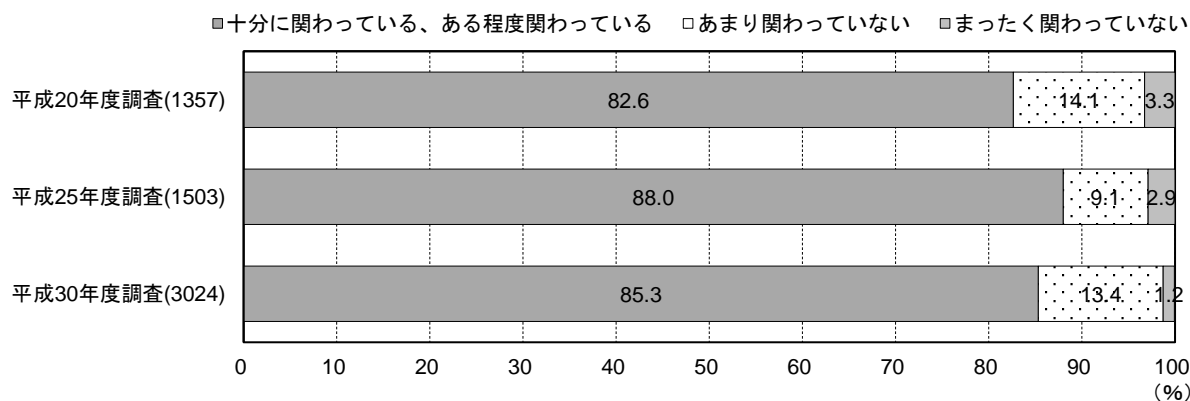
図V-6 理想の子ども数より現実に持てる子ども数が少ない理由として「経済的負担が大きい」



(5) 父親の子育てに対する関わり方

項目	内容
①指標	子育てに関わっている父親の割合
②対象	子育て世帯
③目標	平成30年 100%
④推移	平成20年度調査 82.6% → 平成25年度調査 88.0% → 平成30年度調査 85.3%

図V-7 父親の子育てに対する関わり方

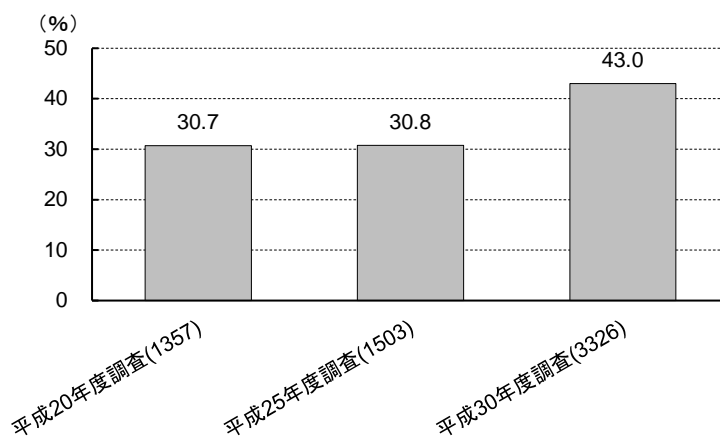


(注) 選択肢を合致させるため平成20年度調査及び平成25年度調査は「不明」のほか「その他」を除く合計を100とした割合である

(6) 父親の帰宅時間

項目	内容
①指標	平日に19時までに帰宅する父親の割合
②対象	子育て世帯
③目標	平成30年 40%
④推移	平成20年度調査 30.7% → 平成25年度調査 30.8% → 平成30年度調査 43.0%

図V-8 平日に19時までに帰宅する父親の割合

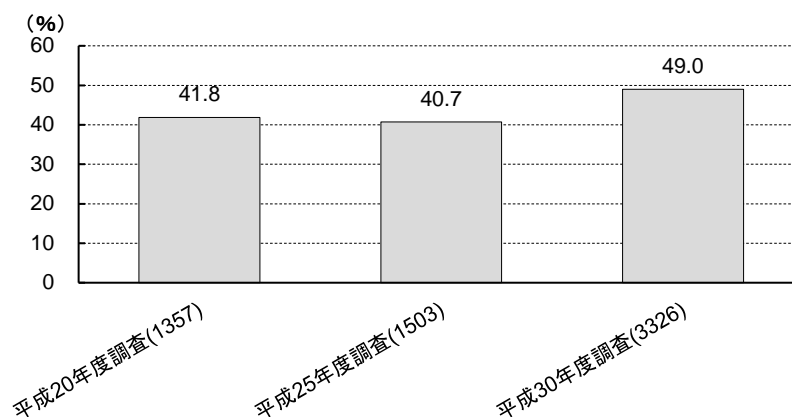


(注) 1. 今回調査(平成30年度調査)の父親の帰宅時間は13時から19時までを集計した
 2. 選択肢を合致させるため、「不明」のほか、平成20年度調査及び平成25年度調査は「死亡・不在」、平成30年度調査は「働いていない」を除く合計を100とした割合である

(7) 出産による退職

項目	内容
①指標	出産のために仕事をやめたことがある者の割合
②対象	子育て世帯の女性
③目標	平成30年 25%
④推移	平成20年度調査 41.8% → 平成25年度調査 40.7% → 平成30年度調査 49.0%

図V-9 出産のために仕事をやめたことがある者（子育て世帯の女性）

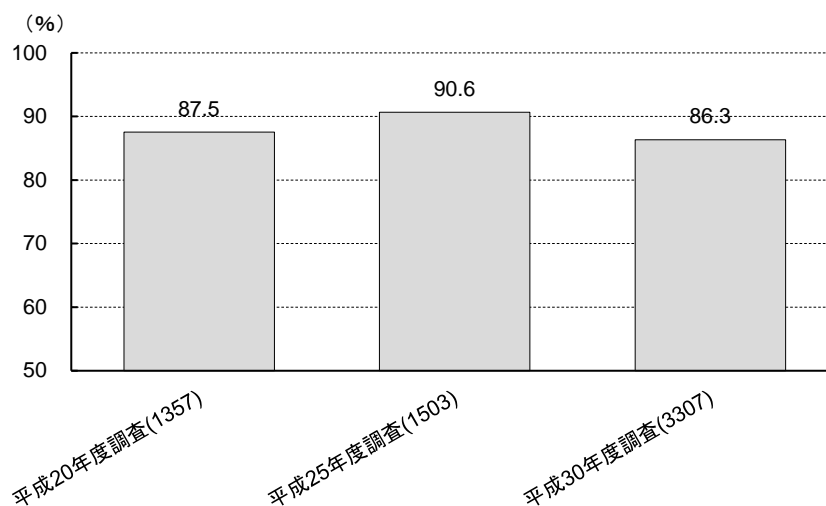


(注) 選択肢を合致させるため平成20年度調査及び平成25年度調査は「不明」のほか「その他」を除く合計を100とした割合である

(8) 子どもの世話を頼める人がいること

項目	内容
①指標	子どもの世話を頼める親族・友人・知人がいる世帯の割合
②対象	子育て世帯
③目標	平成30年 95%
④推移	平成20年度調査 87.5% → 平成25年度調査 90.6% → 平成30年度調査 86.3%

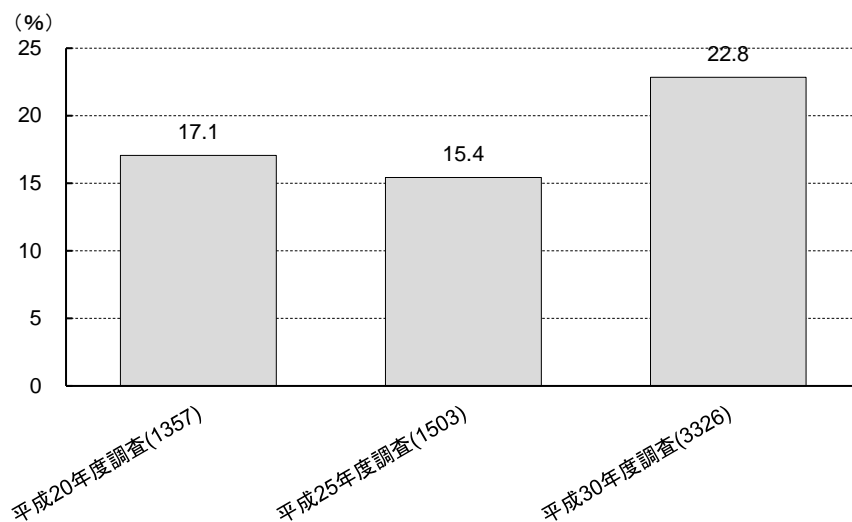
図V-10 子どもの世話を頼める親族・友人・知人がいる



(9) 子どもの急病時の対応

項目	内容
①指標	子どもが急病のとき、医療機関が見つからず困ったことがある者の割合
②対象	子育て世帯
③目標	平成30年 0%
④推移	平成20年度調査 17.1% → 平成25年度調査 15.4% → 平成30年度調査 22.8%

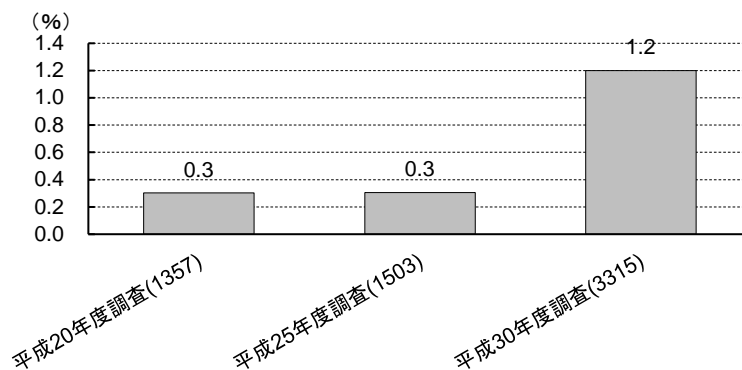
図V-11 子どもが急病のとき、医療機関が見つからず困ったことがある



(10) 子育てに関する情報

項目	内容
①指標	子育てに関する情報が得られない、相談先がわからないと回答した人の割合
②対象	子育て世帯
③目標	平成30年 0%
④推移	平成20年度調査 0.3% → 平成25年度調査 0.3% → 平成30年度調査 1.2%

図V-12 子育てに関する情報が得られない、相談先がわからない

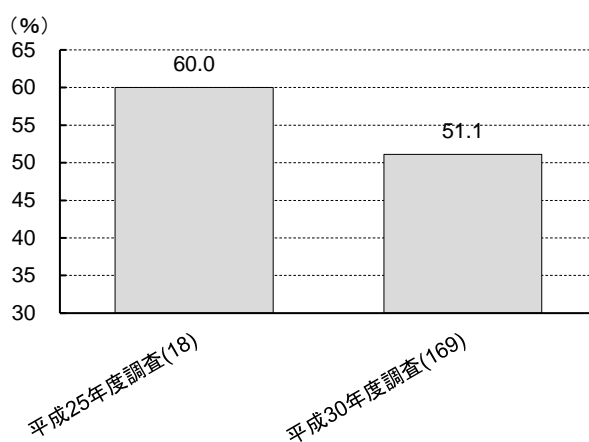


3. ひとり親世帯

(1) 家計について困っている者

項目	内容
①指標	家計について「困っている」と回答した者の割合
②対象	ひとり親世帯
③目標	平成30年 25%
④推移	平成25年度調査 60.0% → 平成30年度調査 51.1%

図V-13 家計について「困っている」



(2) 相談相手

項目	内容
①指標	相談相手がいる者の割合
②対象	ひとり親世帯
③目標	平成30年 70%
④推移	平成25年度調査 55.6% → 平成30年度調査 83.2%

図V-14 相談相手が「いる」

